

国際海運と船舶の次世代燃料

11月20日(木)開催

四方を海に囲まれた私たちの日本では、貿易量の実に99%以上*を「海上輸送(国際海運)」が担っています。また、国際海運を支える船を造る「造船業」についても世界トップ3の建造量*を誇ります。このように、世界有数の海運・造船大国である日本では、世界に先導し、持続的な発展を目指したさまざまな地球温暖化対策が現在進められています。その一つが船舶の次世代燃料に関わる取り組みで、従来の化石燃料より環境負荷が小さい燃料の利用に向けた開発が行われています。

本講座では、国際海運を担う船の心臓である機関を司る「機関士」とは何かを元機関長の本学教員より説明した上で、次世代燃料や脱炭素について海運業界～造船業界を取り巻く環境・取り組みを日本有数の造船所である名村造船所の講師よりお話し頂き、その上で本学における次世代燃料に関わる取り組みを紹介いたします。

海運・船に興味のある方、本学への受験を考えている方など、皆さまふるってお申し込み下さい。

*重量ベース(出典:国土交通省海事局)

講座スケジュール

- 13:00～ 公開講座にあたって
- 13:10～ 船における機関士とは
東京海洋大学 海洋電子機械工学部門 教授 吉岡哲也
- 14:10～ 次世代燃料や脱炭素について海運業界～造船業界を取り巻く環境・取り組み
株式会社名村造船所 船舶海洋事業部 設計本部
技術開発センター 基本計画チームリーダー 林田聡史
- 15:10～ 次世代燃料に関わる本学の取り組み
東京海洋大学 海洋電子機械工学部門 准教授 井原智則

公開講座日は、明治丸海事ミュージアム(明治丸・百年記念資料館と明治丸記念館)の開館を予定(見学は15時まで)しております。

公開講座の開始前にご覧頂けますので、お時間があれば是非そちらもお立ち寄りください。



●募集人数 30名程度(現地参加者・先着順)

●申込期限 2025年11月14日(金)

オンライン参加は人数制限ありません。現地参加者の募集人数を超えた場合、および、上記期限後の申込に関してはオンライン参加での案内となりますので、予めご承知おき下さい。

お申し込みいただいた方への参加方法(会場もしくはオンライン参加用リンク)は11月17日(月)17時までに連絡します。その日時までに連絡がない場合はお問い合わせください。

●受講料金 無料

*オンライン参加の方にかかる通信量については参加者のご負担となります。

●開催形態 対面とオンライン(Webex)でのハイブリッド方式

●開催場所 国立大学法人東京海洋大学越中島キャンパス

*場所の詳細については、参加申込者に連絡いたします。

●申込方法 次のURLまたはQRコードからお申し込みください。

<https://forms.cloud.microsoft/r/NqyTzUXCzv>



●お問い合わせ先

東京海洋大学 財務部研究推進課 研究企画係

〒108-8477 東京都港区港南4-5-7

TEL:03-5463-4054

E-mail:kouza@m.kaiyodai.ac.jp

*東京海洋大学 Webサイト

<https://www.kaiyodai.ac.jp/>

*海洋工学部 Webサイト

<https://www.kaiyodai.ac.jp/faculty/e/>

